

# 令和 2 年度

## 事業報告書

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで)

一般財団法人日田市公民館運営事業団

## 令和2年度事業報告について

### 1 設立目的及び概況

#### (1) 設立目的

当法人は、日田市公民館の設置及び管理に関する条例に掲げる公民館(中央公民館を除く。)、日田市中津江ホール及び日田市大山文化センター(以下「公民館等」という。)の管理運営及び公民館等において各種の事業を行うことにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、もって市民の生涯学習活動の振興、市民参加のまちづくりの促進に寄与することを目的とする。

#### (2) 概況

##### ア 設立年月日

平成23年2月16日

##### イ 基本財産

基本財産は、300万円(全額日田市出資)である。

##### ウ 実施事業

- (ア) 日田市から指定を受けた公民館等の管理運営
- (イ) 市民に対する多様な学習機会の提供
- (ウ) 市民の学習成果の評価・発表・活用に関する事業
- (エ) 市民参加のまちづくりの促進に関する事業
- (オ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 2 評議員及び役員(理事、監事)に関する事項(令和3年3月31日現在)

#### (1) 評議員 (任期4年) 令和4年6月の定時評議員まで

役職	氏名	就任年月日
評議員	村井 尚	令和元年12月5日
評議員	長尾 秀吉	平成30年6月29日
評議員	橋本 成人	平成25年6月19日
評議員	高瀬 博	平成30年6月29日
評議員	工藤 典子	平成23年5月31日
評議員	園田 匠	平成30年6月29日
評議員	神川 聖也	平成30年6月29日
評議員	山中 栄二	令和2年6月30日
評議員	河野 徹	令和元年6月28日

(2)理事 (任期2年) 令和4年6月の定時評議員まで

役 職	氏 名	就任年月日
代表理事 (理事長)	三筈 真治郎	平成26年7月22日
副理事長	森 弘子	平成30年6月29日
理 事	藤井 維清	平成31年4月12日
理 事	坂東 和敏	平成30年6月29日
理 事	千原 康男	平成30年6月29日
理 事	仁田野 繁昌	平成30年6月29日
理 事	三俣 壽磨子	平成30年6月29日
理 事	渡邊 基儀	令和元年6月28日
理 事	園田 恒一郎	令和2年8月30日
常務理事 (兼事務局長)	桑野 桂一郎	平成26年4月1日

(3)監事 (任期4年) 令和4年6月の定時評議員まで

監 事	小ヶ内 聰行	平成23年2月16日
監 事	新原 守人	令和2年6月30日

(4)職員

区分	館長	主事	事務 局長	事務 局員	臨時 職員	合 計	
						男	女
地区公民館	20	20				40	33 7
事 務 局			1	2	1	4	3 1
合 計	20	20	1	2	1	44	36 8

### 3 会議等の開催状況

#### (1) 評議員会、理事会、監査等

開催年月日	開催	付議事項	審議結果
5月19日	第1回臨時理事会	・上津江公民館長の採用について (書面決議)	理事全員の同意により承認
6月9日	監査	・令和元年度事業及び決算の監査	適正
6月19日	第1回定例理事会	・令和元年度の事業報告と決算報告について ・監査報告について ・評議員、理事、監事の推薦について ・定時評議員会の招集について (書面決議)	理事全員の同意により承認
6月30日	定時評議員会	・令和元年度の事業報告と決算認定について ・評議員の選任について ・理事の選任について ・監事の選任について (書面決議)	評議員全員の同意により可決
6月30日	第2回臨時理事会	・代表理事、副理事長の選任について	選任
8月14日	第3回臨時理事会	・理事候補者の推薦について(辞任に伴うもの) ・臨時評議員会の招集について (書面決議)	理事全員の同意により承認
8月30日	第1回臨時評議員会	・理事候補者の選任について (書面決議)	評議員全員の同意により可決
1月19日	第4回臨時理事会	・指定管理者の指定(3期目)について報告 ・業務執行状況報告について ・令和2年度収支補正予算について ・会計処理規程の一部改正について ・館長採用について ・評議員会の招集について	承認 承認 承認 承認 承認 承認

2月 10 日	第2回臨時 評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者の指定(3期目)について報告</li> <li>・理事長等の職務執行状況について報告</li> <li>・館長採用について報告</li> <li>・令和元年度収支予算補正第1号について</li> <li>・会計処理規程の一部改正について</li> <li>(書面決議)</li> </ul>	評議員全員 の同意によ り可決
3月 23 日	第2回定例 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業計画について</li> <li>・令和3年度収支予算について</li> <li>・館長採用について</li> <li>・臨時評議員会の招集について</li> <li>・常務理事、事務局長の選任について</li> </ul>	承認 承認 承認 承認 承認
3月 30 日	第3回臨時 評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度 事業計画について</li> <li>・令和3年度 収支予算について</li> <li>・常務理事兼事務局長の変更について</li> <li>・4月1日の館長配置について</li> </ul>	可決 可決 承認 承認

## (2) 人事委員会

館長採用	新規採用試験 (選考採用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上津江公民館長           <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 3日 上津江公民館運営委員会へ館長候補者推薦依頼</li> <li>5月 7日 上津江公民館運営委員会から候補者の推薦</li> <li>5月 11日 面接の結果、採用することに決定 (5月 20日採用)</li> </ul> </li> <li>・咸宜、桂林、三花、若宮、前津江公民館長           <ul style="list-style-type: none"> <li>10月 1日 2期目の任期が満了する上記の公民館運営委員会へ館長候補者推薦依頼</li> <li>1月 13日 各公民館運営委員会から推薦のあった候補者を面接               <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 1日からの採用を決定 (前津江は 2名推薦があったため、1名を選考)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・日隈公民館長           <ul style="list-style-type: none"> <li>1月 19日 2期目への継続試験の結果を受け、日隈公民館運営委員会へ館長候補者推薦依頼</li> <li>2月 1日 日隈公民館運営委員会から候補者の推薦</li> <li>2月 5日 面接の結果、採用することに決定 (4月 1日採用)</li> </ul> </li> </ul>
------	------------------	--

	2期目への 継続試験	・日隈、朝日、西有田、東有田、小野、夜明、中津江、天瀬公民館長 12月1日 3年間の自己評価シート提出通知 1月13日 面接試験の結果、日隈以外の7名を採用することに決定 (4月1日採用)
主事採用		10月14日 主事1名の令和3年3月31日付けでの退職願を受理 12月1日 令和3年4月1日付での新規採用者の募集開始 (募集期間:12月25日まで) 1月7日 採用1次試験(一般教養・適正検査・小論文) 受験者13名 1次合格者7名 2月7日 採用2次試験(面接) 2月8日 合格者1名の決定

### (3) 事務局

諸会議	・年度当初の館長主事合同会議 (4月10日) ※コロナウイルス感染予防のため館長のみ出席 社会教育課から公民館におけるコロナウイルス感染予防対策について説明 市の関係各課からの事業説明 事務局から令和2年度予算等について説明 ・定例会議 毎月25日 ブロック長・次長会議 毎月 1日 館長会議 毎月10日 主事会議
11～12月	・各館事務検査 (事務局) 検査結果 概ね良好に処理されていた。

### (4) コロナウイルス感染予防対策

2月2日	館長会議で市健康保険課からコロナウイルス感染予防対策の説明を受け、手指消毒液と備蓄用マスクを配布
2月21日	緊急館長会議を開催し、イベント(祭り)と研修視察の自粛を周知
2月26日	高齢者と青少年事業を自粛
3月2日	館長会議と臨時の主事会議を開催し、3月3日から3月31日まで全館休館を周知
3月11日	ドアノブ等の消毒液を配布
3月27日	休館を4月19日まで延長
4月8日	休館を5月6日まで延長

4月 10 日	館長・主事合同会議を館長のみ参加に変更し実施 (内容) コロナ対策と前年度までの事業にとらわれることなく知恵を出し合って、今できる事業への見直しを依頼。
5月 1 日	定例館長会議で休館の延長(期間は当分の間) を周知
5月 20 日	市より非接触型体温計と噴霧器を市で一括発注するので、地区館分の購入費を各館運営費から負担するよう要請を受ける。
5月 22 日	臨時館長会を開催し、大分県に出されていた緊急事態宣言の解除に伴ない、6月1日から平日の9時から17時まで開館することを周知
5月 25 日	定例ブロック長・次長会議で、6月 1 日からの開館に向けた対応を協議
5月 26 日	<p>臨時館長会議を開催し、6月 1 日の開館に向けた対応を説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開館時間等 平日の 9 時から 17 時まで</li> <li>2. 利用の制限 <ul style="list-style-type: none"> <li>①人と人との間隔を 2m 以上あけること。</li> <li>②調理及び飲食は禁止する。</li> <li>③3 密等を避けるため次に該当する使用は禁止する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大声での発声、歌唱等を行うもの</li> <li>・近接した距離での会話等を行うもの</li> <li>・過度な運動や身体接触を伴なうもの</li> <li>・用具等を共有して使用するもの</li> <li>・健康に不安を感じる方は、利用を控えもらうこと。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. 主催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>①段階的開館であり、この時季に再開する必要性等を良く考えること。</li> <li>②青少年事業は、再開時期等を学校と十分協議すること。</li> </ul> </li> <li>4. 自主学習教室 <p>利用制限の3密等に該当しない教室から再開する。</p> </li> <li>5. 消毒の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>①噴霧器 22 台を配布</li> <li>②職員が教室等終了の都度、使用した部屋及び共有部分を除菌する。</li> <li>③消毒液の酸性電解水は、アオーゼ又は大山振興局の装置から確保すること。</li> </ul> </li> <li>6. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>①部屋の面積により使用できない机・椅子は、別室等で保管する。</li> <li>②利用者は使用した机・椅子はそのままの状態で退室すること。</li> <li>③利用者は教室の前後も3密を避けること。(お茶会等は禁止)</li> <li>④利用制限に該当する行為があった場合は、直ちに使用を中止させる。</li> </ul> </li> </ol>
5月 29 日	非接触型体温計 22 台を配布 ブロック毎に館長・主事を対象とした除菌清掃作業講習会を実施

6月4日	酸性電解水の使用を中止し、次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)液を購入し、希釗して使用するよう各館へ通知
7月1日	<p>館長会議を開催し、7月10日からの活動制限の緩和(通常利用)に向け、感染対策の再確認を行った。</p> <p>1. 徹底する項目</p> <p>マスク着用・人ととの十分な間隔・施設の消毒・適切な換気・手指消毒液の設置・利用者名簿の提出・金銭取扱い時のトレー使用・施設利用前後の談話の禁止</p> <p>2. 調理室の利用について</p> <p>調理室の定員 3人／1台 換気扇の動作確認、清掃等の実施</p> <p>3. 事業の見直しについて</p> <p>新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が求められており、公民館運営もその新しい生活様式をイメージし事業の見直しを。</p>
9月1日	<p>館長会議開催</p> <p>1. 公民館主催事業のあり方について指示。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館事業における、市外への移動、宿泊等は延期または中止すべき。</li> <li>・公民館事業として市外への研修(旅行)が必要であるのか、今年度実施する必要があるのか再度検討すること。(視察研修(旅行)、スキーリン等)</li> <li>・市内にあっても、宿泊などを伴う事業においては、実施後に2週間程度、本人や同居の家族を含めた経過観察が必要であることから、実施にあたっては感染防止策等に十分配慮すること。</li> </ul> <p>2. 公民館において体調不良者が発生した場合の対応について説明</p>
2月1日	<p>館長会議にて、公民館主催事業について追加指示。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等(50代以上)を対象としたバス移動を伴う主催事業については、延期又は中止すべき(重症化しやすいため)</li> <li>・令和3年6月までは、現行の対策措置に沿って事業を計画していただきたい。</li> </ul>
4月23日	感染拡大に伴い、各館に総会等の書面開催の検討を指示(日田市からの要請)。
4月28日	大声での発声、歌唱等を伴う活動の自粛を指示(日田市からの要請)。 期間は4月30日から5月末まで
6月1日	大声での発声、歌唱等を伴う活動の自粛を6月20日まで延長することを指示(日田市からの要請)。

## (5) 職員研修

### ① 研修推進委員会開催状況

6月25日	令和2年度の職員研修計画の審議
-------	-----------------

### ② 研修実施状況

※事務局を含む

研修名	主催	期日	館長	主事
新採職員研修	事業団	4月5日～6日	1	2
新型コロナウイルス感染症予防対策除菌作業研修会	事業団	5月29日	20	22
新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会	県教育委員会	6月5日		2
第1回「地域学校協働活動」関係者研修会	県教育委員会	7月28日	11	2
救急救命研修	市健康保険課	7月30・31日	3	6
大分県公民館テーマ別研修①	県公連・県立図書館	7月17～27日	10	10
大分県公民館テーマ別研修②	県公連・県立図書館	9月4日	1	8
第1回緑の環境学習指導者養成講座	県教育委員会	9月19・20日		3
第1回大分県社会教育行政職員専門研修会	県教育委員会	9月29日		3
森林環境学習推進事業「緑の環境学習指導者養成研修会」	県教育委員会	10月3日		1
Cブロック館長研修会、日田市中山間地域における移住・定住について	事業団	10月13日	5	
第71回大分県公民館研究大会	県公連・別府地区公連	10月20日	9	14
刈払機取扱作業者安全衛生教育	コベルコ教習所	10月31日		1
合同事業検討委員会	事業団	11月6日	2	6
ハラスマント研修	事業団	11月10日	20	22
公民館関係職員部落差別解消推進研修会	社会教育課	11月12日	6	15
Cブロック主事研修プログラミング研修	事業団	11月17日		8
リモート事業検討委員会	事業団	11月17日	2	7
Bブロック館長研修「地域資源を活かしたまちづくり」	事業団	11月18日	5	
合同事業検討委員会	事業団	11月27日	1	7
日田地区公民館連合会研修会	日田地区公連	12月1日	20	2
リモート事業検討委員会	事業団	12月3日	2	6
大分県人権教育・部落差別解消推進協議会実践交流会	大分県社会人権教育・部落差別解消推進協議会	1月20日		21

社会教育関係職員合同研修会	県立図書館	2月 5日		8
			118	176
合 計 ( 研修 )			294	

(6) 公民館運営委員会連絡会

7月 21日	・第1回連絡会 (出席者17名) 令和元年度の事業及び決算報告について 令和2年度の事業計画及び予算について 社会教育課からの報告事項について
10月 20日	・大分県公民館研究大会 会場:日出町中央公民館
	・コロナ感染予防のため第2回連絡会は中止(例年1月に開催)

#### 4 令和2年度 地区公民館事業の実施状況

※網掛け部分は再掲(事業数、回数、延べ人数の合計にはカウントされません。)



No.	公民館	地域状況		広報		1 青少年学習			2 成人学習			3 高齢者学習			4 社会人権・同和学習			5 家庭教育学習			6 環境学習						
		世帯数	人口 R3.3.31	高齢化率 R3.3.31	広報	HP	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数						
11	東有田	607	1,589	47.5	5	18	ムクの樹体験クラブ	10	114	成人セミナー	5	77	生きがい大学	2	87	町内・団体人権学習会	16	372	子育て支援講座	6	80	成人セミナー	1	11			
							ムクの樹体験クラブジュニア	5	43	男の料理教室	8	87	めだかの学校	17	220	自主学習教室代表者会議	2	14				ムクの樹体験クラブ	1	12			
							ありた陸上教室	44	326	女性の料理教室	8	71	世代間交流グラウンドゴルフ大会	1	13												
							ステップ運動教室	11	172																		
							パソコン教室	1	61																		
								3	59	483		5	33	468	3	20	320	2	18	386	1	6	80				
							チャレンジ教室	7	94	成人セミナー	8	146	こととい大学	8	155	町内・団体人権学習会	1	11	家庭教育講演会	1	64	チャレンジ教室	2	26			
							わくわく教室	10	237							チャレンジ教室	2	27			わくわく教室	4	82				
																こととい大学	2	51			成人セミナー	1	23				
12	小野	291	713	49.1	12	43										家庭教育講演会	1	64									
								2	17	331		1	8	146	1	8	155	1	1	11	1	1	64				
							大明チャレンジ教室	7	99	女性セミナー	3	71	寿大学	4	76	町内人権学習	2	40	子育て応援講座	3	58	大明チャレンジ教室	4	55			
							フォレストアドベンチャー奥日田体験	1	13	男性料理教室	6	42				大明チャレンジ教室	1	16			フォレストアドベンチャー奥日田体験	1	13				
																フォレストアドベンチャー奥日田体験	1	13									
								2	8	112		3	12	157	1	4	76	1	2	40	1	3	58				
							大明チャレンジ教室	7	34	ふるさとの歴史学習会	10	87	夜明寿大学	2	50	大明チャレンジ教室	2	24	子育て支援	1	18	大明チャレンジ教室	2	11			
							大明児童の通学合宿代替体験事業	1	14	料理教室	4	42															
																成人セミナー	14	115									
								2	8	48		3	28	244	1	2	50				1	1	18				
13	大鶴	529	1,252	49.7	12	38	五和チャレンジ教室	8	57	成人セミナー	5	52	幸齢者教室	4	44	成人セミナー	1	10				チャレンジ寺子屋	1	16			
							チャレンジ寺子屋	1	16	男の料理教室	7	73	幸齢者マナビ塾	9	76	女性セミナー	1	15				五和チャレンジ教室	1	9			
							防災学習会	1	18	よるこはん	9	55				高齢者マナビ塾	1	8									
								3	10	91		4	29	294	2	13	120										
							まえつえジュニア倶楽部	9	166	まえつえセミナー	4	39	幸齢者学級	5	110	町内人権学習会	2	16				まえつえ環境学習会	3	119			
																女性セミナー	4	32	めだかの楽公	13	188	まえつえジュニア倶楽部	3	40			
							男の料理教室	4	22											前津江人権講演会	1	40					
							スマートフォン講座	9	57																		
								1	9	166		4	21	150	2	18	298	2	2	16			1	3	119		
14	夜明	352	822	44.6	23	13	津江っ子チャレンジクラブ	3	25	料理教室	4	27	いろいろチャレンジ(寿学級合同)	3	39	町内人権学習会	1	7	家庭教育支援	5	112						
							津江小・中教育講演会	1	45	スイーツ教室	4	26				いろいろチャレンジ(寿学級合同)	1	12									
																津江っ子チャレンジクラブ	1	7									
																公民館教室発表会	1	95									
								2	4	70		2	8	53	1	3	39	1	2	25	1	5	112				
							津江っ子チャレンジクラブ	5	34	女性セミナー	3	31	たかさご学級	2	28	上津江町人権講演会	1	22	こども園体操教室	3	36						
																たかさご学級	2	28	小学生(放課後)体操教室	3	86						
							料理教室	2	21								津江っ子チャレンジクラブ	1	7								
							1	5	34		2	5	52	1	2	28	1	1	22	2	6	122					
15	五和	1,151	2,508	45.4	13	48	大山っ子チャレンジ教室	11	157	男の料理教室	2	8	いきいき大学	7	156	町内人権講座	3	44				大山っ子チャレンジ教室	3	40			
							中学生ボランティアスタッフ	6	6	女性セミナー	8	57				大山っ子チャレンジ教室	1	46									
																火山っ子チャレンジ教室	2	23									
							ITに触れよう	10	69							女性セミナー	2	7									
																いきいき大学	1	10									
								2	17	163		3	20	134	1	7	156	2	4	90							
							teamあまがせ	6	42	輝(キラキラ)塾	6	48	寿学級	13	138	地域人権学習会	1	30				teamあまがせ	1	7			
																ザ☆男メン	6	26	サークル笑顔	15	126	自主学習教室	4	34			
																成人セミナー	1	8	あまがせ!笑楽康	12	175	寿学級	6	56			
																パソコン教室	8	33			輝(キラキラ)塾	1	7				
20	天瀬	1,912	4,357	51.8	12	75		1	6	42		4	21	115	3	40	439	1	1	30							
								32	328	3,468		62	375	3,922	35	233	4,594	23	52	1,054	16	51	1,277	3	8	216	
合計		27,130	63,888	32.3	218	725		32	328	3,468		62	375	3,922	35	233	4,594	23	52	1,054	16	51	1,277	3	8	216	
再掲																											
再掲を含む計								32	328	3,468		62	375	3,922	35	233	4,594	46	62	1,157	25	39	508				

No.	公民館	7 自主学習教室			8 公民館まつり			9 その他の学習			10 ふるさとまつり			11 まちづくり事業			12 その他の事業			総数			貸館・その他			公民館合計					
		教室数	開催回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座名	回数	延人数	講座数	回数	延人数	回数	男性	女性	合計	回数	総合計			
11	東有田				学校支援事業	1	16										公民館運営委員会	3	46												
																	防災土懸談会	2	48												
		8	144	595		1	1	16										2	5	94	25	286	2,442	48	427	141	568	334	3,010		
12	小野										小野の歴史冊子作製事業	2	12	公民館運営委員会	1	21															
		3	28	253							1	2	12				1	1	21	11	66	993	52	255	235	490	118	1,483			
13	大鶴										静修そばうら道場	8	77	公民館運営委員会	3	40															
											ウォーキング大会	1	26																		
		13	231	1,394							2	9	103				1	3	40	24	272	1,980	179	985	1,627	2,612	451	4,592			
14	夜明										まちづくりセミナー	1	17																		
											幼老共生事業	1	50																		
		10	223	2,163							地域活動支援 夜明地区社協	1	30																		
15	五和				自主学習教室開講式	2	43				地域活動支援 夜明史談会	9	28																		
											地域活動支援 三日月サークル	9	87																		
		23	598	4,546		1	2	43			地域活動支援 桜守の会	3	24																		
16	前津江										6	24	236																		
											23	286	2,759																		
		13	141	853		2	8	172			2	2	71	150	221	5,165	150	221	691	912	371	6,077									
17	中津江				リトミック講座	7	132				あいさつ運動	6	462	スポーツ交流会	1	43															
					前津江町人権講演会	1	40				まちづくり講演会	1	9																		
		13	148	1,133		1	1	95			2	7	471				1	1	43	28	210	2,288	147	395	938	1,338	357	3,626			
18	上津江				公民館教室発表会	1	95	中津江ホール活用事業	1	92	地域活性化支援事業	5	40	公民館運営委員会(ホール関係)	1	29															
											1	5	40				1	1	29	24	178	1,688	83	744	418	1,162	261	2,850			
		12	129	1,333		1	1	95			1	5	40																		
19	大山										上津江スポーツ大会	2	34	学校支援	1	29															
											まちづくり支援	4	43	公民館運営委員会	5	26															
		22	226	1,756		2	14	874			2	6	77				2	6	55	23	160	1,723	4	16	13	29	164	1,752			
20	天瀬										大山小学校授業支援	2	31	高齢者交流支援	4	42	公民館運営委員会	4	38												
											大山小中学校練習等	12	843	ウォーキング・ルディックウォーク	1	104															
		30	552	2,586		2	14	874			100のコトへの挑戦	2	40																		
合計		347	7,002	52,794		2	3	149			7月豪雨災害に伴う炊き出し	10	351	学校支援事業	1	37															
再掲											自分史贈呈式	1	25	公民館運営委員会	3	31															
再掲を含む計		347	7,002	52,794		2	3	149			33	105	2,201				2	4	68	44	638	3,696	229	1,649	992	2,641	867	6,337			

令 和 2 年 度

公 民 館 事 業 評 価

一般財団法人 日田市公民館運営事業団

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
咸宜	咸宜校区内住民に対し、実際生活に即した教育・学術・文化に関する各種事業を提供すると共に、多くの人々の参加を促し、ともに集い、ともに学び、ともに生きる喜びを共有し、地域の課題を考え解決する学習の拠点とする。	咸宜公民館は貸館での利用が多いため、丁寧な対応や文書管理に気をつけていきたい。新型コロナ感染症により年度当初が休館だったこと、また開館後も利用人数に制限があったことから、利用回数・利用者数ともに少なくなっている。今後しばらくはコロナの影響は続きそうで、感染対策を徹底する必要がある。	公民館だよりは、R2年度途中にカラーに変更したことにより、それまでより興味を持って読んでくれるようになつたと思う。ホームページは、事業が少なかつたため更新も少なくなった。事業の報告など、できるだけ早く更新できるようにしたい。	R2年度は新型コロナ感染症の影響を受け、公民館事業の開催が難しい1年であった。年度当初からの公民館休館で当初計画がくずれ、開館後も人数制限や移動制限などで、年度途中に何度も計画を変更することになつた。それでも、最終的には13事業62講座を開催し、多くの学習機会を提供することができた。	R2年度は新型コロナ感染症の影響を受け、当初の計画通りに事業を進めることはできなかった。それでも、6月以降は感染対策を講じながら実施していくことができた。事業の回数、参加人数とも、例年よりかなり少なくなったが、新型コロナ感染症の影響を考えると仕方がなかったと思う。いろいろと制限があった中での事業開催であったため、例年と比較して評価することは難しい。しかしながら、この状況がしばらく続きそうであることから、当年度の感染対策を活かして次年度事業を開催していく必要がある。	<p><b>【職員対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館申請、その他の問い合わせにも、忙しい中親切に対応していただけて、安心して相談できます。</li> <li>・地域の方、利用者とのコミュニケーションが取れている。</li> <li>・いつもあたたかい対応をありがとうございます。</li> </ul> <p><b>【運営方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館を利用する目的、公民館が地域に学びの場を提供している目的など、よくわからていない人もいる気がします。教室の代表者など、教室生に理解してもらうよう努力が必要だと思いました。</li> <li>・きめ細かく情報提供をいただいている。</li> </ul> <p><b>【広報活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館に発行したものを貼っているので、わかりやすく読むことができます。</li> <li>・内容は素晴らしいと思います。発行回数が多く、大変だと思います。</li> <li>・取り組み内容がよくわかるので、ホームページの更新を楽しみにしています。公民館だよりも見やすい。</li> </ul>
桂林	桂林地区住民のために、生涯学習を基盤とした日常生活に即する教育・学術・文化に関する各種事業と、現代社会における実生活の中に介在している様々な課題に対し、改称の一助となるべく事業を提供することで、地区住民がともに集い、ともに学び、ともに行動し合う(結び合う)風土づくりを目指し、地域の発展に寄与します。	コロナ禍の為、大幅に利用者人数が減少した。主催事業も教室利用人数の制限などで減少した。	HPの更新が遅れた分があった事と、ぶらりと歩こう会とチャレンジスクールの合同事業なども記者クラブへお知らせした方が良かった。	環境事業や地域活性化事業は、バスを利用した研修を予定していたため、開催することができなかつた。	年度初めが閉館していたこともあり利用者数は減少したものの、主催事業などでは参加者の方が安心して参加頂けるように密を避け、換気を行なながら活動できた。新規で始めた男の料理教室は、団塊の世代の方が参加し、目的に沿った活動ができたと思う。また、成人事業は通常事業に戻し参加者同士の交流が図られ、料理教室では今まで公民館事業に参加したことのない方が参加するなど、新しい利用者の獲得ができた。	<p><b>【職員対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング調査でどちらともいえないという結果の方がいらっしゃったので、より分かりやすく丁寧な対応を心がけてもらいたい。</li> </ul> <p><b>【運営方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常に住民が利用しやすい公民館運営を目指してもらいたい</li> </ul> <p><b>【広報活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページと公民館だよりで広報活動が出来ていた</li> </ul>
三芳	三芳公民館はこれまで以上に地域住民や各種団体との連携・協調を図りながら社会教育法に定められている公民館の設置目的を基に「活力ある三芳」創りを基本とし、「あかるい三芳」「すこやか三芳」「すみよい三芳」創りを行い、社会教育と学校教育が連携を図り、日田市教育行政実施方針が示す「明日の日田を築く、心豊かな人づくり」を目指す。	新型コロナウイルスの関係で事業を行うことができず、主催だけでなく、町内人権学習会などの共催事業も数が減少した。貸館は6月より順次開始したが、入室人数制限などもあり、延べ利用者数は大幅に減少した。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による主催事業数の減少、地域のイベントの現象により、掲載できる情報がに減少し、HPの更新が大幅に減少。	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として4月より10月までの間主催事業が行えず、10月より1部再開したものの、受講者が平均して減少した。なお、青少年学習はコスモスつ子含め全般中止した事により、講座数が大幅減少した。令和3年度はこの状況を踏まえて公民館学習の機会を提供できるよう尽力していきたい。	令和元年度より発生している新型コロナウイルスの影響がすさまじく、例年の活動をほぼ行なうことができなかつた。青少年学習に関しては、子どもへの感染防止を考慮し行わなかつたが、公民館で実施する以外の方法で(集まらないで行う)の事業の在り方を考えて行く必要があると感じた。成人学習・高齢者学習共に10月より一部事業を行つたが、参加者が減少が著しく、コロナ禍でも安心して事業に参加できるような方式や内容、生活様式が変化しているのと同じように、公民館活動も変化していかなければいけないのではないかと考えられる年度だった。	<p><b>【職員対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切に行われている。</li> </ul> <p><b>【運営方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この方針に向けてこれからも行動してほしい。</li> </ul> <p><b>【広報活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある公民館だよりの工夫がみられる。</li> </ul>

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
光岡	光岡公民館の基本理念である「心豊かな活力ある人づくりまちづくり」推進のため、地域の方々との密接な繋がりを大切にし、地域住民が主体的に運営に関わることで、生涯学習社会における地域の教育機関としての役割と、地域の人々の交流の場、人づくり・まちづくり活動の拠点としての役割を果たしていきます。また、日田市教育行政方針及び事業団の目的に沿うよう、幼児期から高齢期まで、教育、文化に関する各種事業と、社会環境の変化に伴う様々な課題に対し自ら関わりながら、ともに学び、ともに集い、ともに結び合う環境づくりを推進し、地域の皆で力を合わせることのできる公民館運営に努めます。光岡公民館の基本理念である「心豊かな活力ある人づくりまちづくり」推進のため、地域の方々との密接な繋がりを大切にし、地域住民が主体的に運営に関わることで、生涯学習社会における地域の教育機関としての役割と、地域の人々の交流の場、人づくり・まちづくり活動の拠点としての役割を果たしていきます。また、日田市教育行政方針及び事業団の目的に沿うよう、幼児期から高齢期まで、教育、文化に関する各種事業と、社会環境の変化に伴う様々な課題に対し自ら関わりながら、ともに学び、ともに集い、ともに結び合う環境づくりを推進し、地域の皆で力を合わせることのできる公民館運営に努めます。	新型コロナウィルスの影響により5月まで臨時休館となり、事業回数、参観者数ともに大きく減少した。今後もコロナの感染情勢は不透明なことから、コロナに対応した事業実施が求められる。	公民館報及びホームページの更新数について、おおよそ計画通りに実施できた。また、紙面デザイン等についても、手に取つてもらえるよう工夫をした。また、地域情報についてより一層取材をして掲載したい。	新型コロナウィルスの影響により、参加者減がある事業もあり、コロナに対応した事業企画が必要である。また、主催事業については、受講者の固定化がみられるため、新陳代謝ができるような試みも必要。	新型コロナウィルスの感染情勢が不安定であるため、これまで通りの事業実施では様々なリスクを負う可能性があるため、公民館事業において新型コロナウィルスに対応した事業展開を検討しなければならない。 主催事業全般として、アンケートによる受講者の満足度は高いが、受講者のマンネリ化や減少傾向がみられ、講座内容や取り組みの改善が必要。 平素より、今日の社会情勢や公民館利用者や受講者との会話にアンテナを張り、求められる公民館事業の企画が急務である。 また、学校のコミュニティスクール導入や公民館事業の多様化により、地域人材による活動支援が重要であり、光岡っ子お助け隊（人財バンク事業）などの登録数拡大が急務であり、主催事業受講者はもちろん、地域の人材発掘・育成に重点を置いた取り組みを行いたい。	【職員対応】 今後もあいさつの励行、名札の着用を徹底し、地域の皆様が気軽に安心して利用できる公民館としてサービスの向上を継続する。  【運営方針】 地域住民の交流の場、人づくりまちづくり活動の拠点としての役割を今後とも継続発展させていく必要がある。 また、災害やコロナに対応した学習など、現代的課題に即した事業展開を期待する。  【広報活動】 公民館だよりやホームページについて、公民館主催事業の告知や報告はもちろん、地域情報の発信源としての役割を理解し、これまで以上の充実と向上が望まれる。
三花	少子高齢化や人口減少が進み、まちづくり・地域づくり・人づくりが大きな課題となっている。そのような中、地域の特色を活かした事業や地域の伝統文化を活かした取り組みが積極的に行われている。  今後とも、地区公民館が地域社会の拠点として、自治公民館との連携を図り、地区公民館の役割や機能を最大限に發揮し、地区に住む方が「夢を持ち人と地域が元気なまち」となるよう努めてまいります。	令和2年度は新型コロナウィルスの影響で、5月末まで公民館は閉館となった。条件付きで6月1日より開館したものの、感染対策を行なながらの活動再開となった。事業に対する制限としては、宿泊事業の中止、市外へのバスを使った視察研修の中止、室内での講演会の中止など、大きな影響が出た。そういった中でも「検温」「手指消毒」「利用名簿への記入」「消毒」などを行なながら活動をした。	地域の方と公民館を繋ぐ広報活動は、有効な手段である。魅力ある紙面づくりを目指し、参加者のコメントをいれ、紙面の魅力アップを図った。今後も自治会などの協力を得ながら、魅力ある広報・ホームページ作りに努めてまいります。	令和2年度は新型コロナウィルスの影響で、事業に制限はかかったが、感染対策を行なながら活動を行った。実施回数の増やせるものは回数を増やして開催した。市外への視察研修、バス研修、宿泊体験などができず、予算は全て執行できなかつたが、工夫を行なながら参加者のニーズを把握しながら活動を計画した。	三花公民館の取り組みは、社会教育はもちろん、地域振興につながる取り組みを積極的に推進している。現在、少子高齢化・人口減少が進む中、住民同士の希薄化が懸念される中、公民館活動が地域活性化の一役を担っていると考えている。特徴的な事業として、「みはなすずめの学校」「花いっぱい運動」は地域課題に対応した取り組みといえる。また、青少年事業「三花チャレンジ教室」はキャンプ等の屋外活動を通じ、自然と触れ合い、自然を守り、育てる重要性など、次代を担う子供たちの育成に努めるとともに、自信・やる気・そして感謝することなど、多くのことを学んでもらった。このような取り組みや活動等を通して、地域に住む多くの皆さん、夢や希望・目標に向かって楽しく達成できるような、確かな歩みとなるように、これからも公民館がその責務と機能を最大限に発揮し、基本方針である「夢を持ち人と地域が元気なまちづくり」の拠点としての役割を果たしてまいります。	【職員対応】 住民が気軽に利用できる環境づくりに配慮されており、引き続き、良好な関係づくりに努めてほしい。  【運営方針】 実施方針に基づき、目標・目的を達成するために、各種事業が取組まれ、地区民にも大変喜ばれている。今後も、時代の変化に対応し、事業を見直し・改善し、目標を達成できるよう取り組むことを希望する。  【広報活動】 広報は公民館がどのような活動に取組んでいるかを地区民に知らせる大切なツールであり、大変重要な取り組みである。三花公民館では、年6回の広報発行とホームページによる周知がなされ、広報を通して地区民との一体感が醸成されている。今後も、魅力ある記事や紙面づくりに頑張ってもらいたい。

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
日隈	日隈公民館は地区公民館として、今までの活動をさらに充実して校区の方々が、心豊かに輝けるような学習会や発表の場を提供し、生涯学習環境の充実をはかる。今年度も公民館の地域の目標である「～プラスαのあいさつをしよう～」掲げ、「人と人」「世代間」「地域と学校」をつなぐ事業を実施していく。	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月まで休館、それ以降も感染予防のため中止や縮小の事業、貸館となり、利用者が減少した。感染予防の対策を取りながら、利用者が使いやすい公民館を目指していきたい。	日隈公民館だよりは、発行した9回の内6回をA3用紙表裏とし、地域の団体の活動等の話題も取り入れて、読み応えのある内容を目指した。ホームページは実施できた事業や地域のイベントが減少したため更新回数が減少した。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、バス研修など中止とした事業があるため、参加者負担金は減額となった。	新型コロナウイルスの影響のため、企画していた事業を計画通りに実施することが難しく、内容の変更や中止など感染防止対策を考えながら事業を実施する1年となった。学校や地域のイベントも続々と中止となる中で、公民館と学校・地域とのつながりが薄くならないよう広報などで発信しながら、利用者のニーズを聞き、幅広い世代の方が来館しやすい公民館を目指していくたい。	【職員対応】今後も適切な対応をお願いしたい 【運営方針】今後も協力したい 【広報活動】広報は地域の情報も掲載できている
若宮	日田市社会教育実施方針・実施計画に基づき、公民館の管理運営を行うことにより、市民の教養の向上、健康の進歩、情操の純化を図り、もって市民の生涯学習の振興と総合的支援を行い又、市民参加のまちづくりの促進に寄与することを目的とする。 若宮公民館では、「市民に開かれ、利用しやすい施設の管理運営」を目指し、地域の皆様が気軽に立ち寄り、利用いただけるよう努力してまいります。 「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」公民館活動を通じて事業を推進していきます。	年間利用回数・利用者数の減少は新型コロナウイルス感染防止による休館及び主催講座の自粛によるものが顕著に出ていたため単純な比較は難しいが、今後とも地域のニーズに対応した講座を行うよう努力し高齢化等による自然減を補っていきたい。	手に取ってもらえるよう1月1日号を全面カラーで全戸配布するなどを今年度も実施した。カラーだと「見たよ」という感想を聞く機会があった。引き続き見やすい紙面づくりを行っていきたい	新型コロナウイルスが流行し休館や使用制限等がある中、工夫し講座の開催等を行うことができた。しかし男の料理教室等、参加者から怖いので参加したくないという声が寄せられやむをえず開催を見送ったものもあり、情報による過度な委縮傾向も見られ運営の難しさを感じる	各種の公民館事業においてボランティアスタッフは欠かせないが、様々な機会をみて声かけをしているものの十分な確保は難しいのが現状。成人学習の女性セミナー、高齢者を対象とした寿考教室は、参加者が少なく受講生確保のためのアクションが必要と思い考えて様々試しているが結果にはつながっていない。コロナ禍に対応した椅子ヨガ教室は自主学習教室につながるなど、時代にあったものに今後も取り組む必要がある。	【職員対応】多忙な中で、利用者への対応は良くできているのではないかと思う 【運営方針】コロナ禍の中、年度の初めは多くの困難に直面したが、丁寧に会議を重ねながら、何とか乗り越え、各界各層や地区の事情に応じた講座ができている。 【広報活動】その時々に応じた公民館だよりの発行が出来ている。
高瀬	高瀬公民館では、「自らの地域は自ら創る」住民意識を形成するために、【あいさつと助け合いの町づくり】「みんなでつくろう安心・安全のまち」を高瀬地域活性化スローガンとし、地域住民が互いに支えあい、知恵を出し合って、一人ひとりができるることをほんの少しずつ行うことにより、みんなが繋がって『心豊か活力あるまち高瀬』を目指す。また、特に今年度は住民の健康づくりや地区的地理・歴史・自然を学習の重点目標の一つに位置づけ地域の繋がりを推進していく。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、利用者数が半減した。夜間の感染対策の徹底が難しい。	各事業を中心に公民館だよりを月1回発行し、地域の方に活動内容をお知らせすることが出来た。	9月以降に実施できたのは、みどりの少年団・女性セミナー・学校支援事業・子育て支援講座の4つだけだった。感染症対策をしてもう少し事業を実施すべきだった。	新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せない中での公民館活動は「不要不急」の観点から自粛せざるを得なかった。1年以上も続くと、ウイズコロナの立場で公民館活動を実施していくしかない。	【職員対応】 <ul style="list-style-type: none"><li>・利用しやすい公民館運営が出来ている</li><li>・新型コロナウイルス感染症対策を図ったので、利用者からの感染は見られなかった。</li></ul> 【運営方針】 <ul style="list-style-type: none"><li>・地域活性化スローガンが地域の実態に定着しているので、さらなるステップアップする内容を考える時期にきている。</li></ul> 【広報活動】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ホームページのさらなる充実を目指す。</li></ul>

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
朝日	大きく変化する社会情勢の中で地区的住民が求めていることが何かを調査し、地域の方が求めている教育事業を展開する。中心に子どもをおき、地域がつながりをもつて「人が育ち・人がつながり」明るく元気な地区を作るために公民館事業を企画・展開する。	コロナウィルスの影響で、休館や利用制限がかかっていることもあり、事業・利用回数や利用者数が大幅に減少した。ウィルス対策を講じた上で、できる事業を開催したが、全体的に参加人数も少なかつた。令和3年度も利用制限がかかった中での実施となるが、少しでも利用者が増えるよう工夫していきたい。	年度当初は休館ということもあり、掲載情報も少なく、紙面を半分にし、公民館利用情報を掲載するしかなかつた。年度後半は、班回覧はカラー印刷、全戸配布は白黒印刷とし、目を通していくだけの工夫を行つて、公民館活動をはじめ地域行事も積極的に掲載することで、情報発信基地として各種お知らせができるよう努力する。	コロナウィルスの影響で、各講座の内容変更の必要があり、チャレンジ俱楽部のキャンプや、レディースセミナー・朝日大学の市外研修が実施できなかつた。地域ぐるみでのイベント等も実施できなかつた。そのような中で、何ができるのか今一度振り返り、次年度については、できることを実施しながら、地区の活性化につなげたい。	コロナウィルスの影響で、年度当初は休館、夏以降は利用制限を設けた上での開館ということで、事業も制限が付いた中での実施となり、非常に難しい一年となつた。できる事業を実施したが、なかなか人も集まらなかつた。	<p>【職員対応】 良く出来ている。</p> <p>【運営方針】 誠意をもって取り組んでいる。</p> <p>【広報活動】 レイアウト等を工夫しており、見やすい。</p>
西有田	公民館は、地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として運営を行っています。 近年、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化、防災等の安全に対する意識の高まりなど、社会変化が著しい中、地域で公民館が果たすべき役割が重要となっています。 西有田公民館は、地域住民に親しまれる施設として、皆様に気軽に利用され、つどいの場、地域相互の学び合いの場、そしてまちづくりの拠点としての役割を果たすよう努めてまいります。	新型コロナの影響で、参加人数の制限や、祭りの中止、公民館利用の自粛など前年から比較すると大幅に利用者が減じた。しかし、利用者増のため期間を定めて七夕飾りやロビー展の開催に取り組んだ。	事業や自治会の話題等の減少により、毎月1回の広報発行に苦慮した。また、ホームページへの更新については、個人情報等の取り扱いに注意した。	公民館利用者の意見を求める機会を増やし、事業の見直し等の参考にした。公民館主催事業から自主学習教室への移行支援へ取り組んだ。コロナ禍であり気軽に公民館へ立ち寄ることが出来なかつた。	本年度は、通常委員会(総会)が開催でき新年度の事業方針の考えを伝えることが出来た。青少年教育では、できる範囲で事業に取り組むことが出来た。また、クラブ活動や塾などで参加者が減少していることから魅力ある工夫が必要である。成人教育では、コロナ禍で参加者の減少や中止する教室もあつた。また、オンラインでの講演会を試験的に行う等工夫も行つた。高齢者学習では、人数制限をしながら取り組んだ。密にならない工夫として、期間を設けて七夕飾りやロビー展を行い利用者の増に取り組んだ。社会人権教育では、各公民館での人権研修ができない中、コロナ差別の啓発として、全町内へ資料の配布を行つた。自主学習教室では、12教室から17教室まで増加し、自立ができた。	<p>【職員対応】 気軽に公民館に立ち寄ることが出来る雰囲気づくりに努めている。</p> <p>【運営方針】 事業運営については、昨年の実績を踏まえ工夫しながら柔軟に対応している。</p> <p>【広報活動】 公民館の情報のみならず地域の話題等情報発信に頑張っている。</p>

公民館	運営方針	反 省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
東有田	<p>基本理念……「思いやりの 心あふれる人づくり 地域づくり」</p> <p>運営方針……地域の皆さんと力を合わせ、引き続き地域に根ざした「学び」の場の提供に取り組むとともに、地域の活性化を目指した地域づくりにも積極的に取り組んでいく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染対策により、ふるさとまつりの延期や公民館の長期休館により、利用者は前年度と比較し半減した。コロナの終息を願うばかりである。</p>	<p>新型コロナウイルスによる長期閉館、再開後の制限のためとはいえ、情報発信が大幅に減少した。制限下においても、もっと情報発信をしなければならない。</p>	<p>コロナ対策による講座の減少、参加人数の制限もあり、理想とはほど遠いものになってしまった。</p> <p>新しい生活様式における工夫が必要。</p>	<p>これまで経験したことのない状況下で公民館事業に取り組まなければならず、試行錯誤の中での実施となつたが、そのような中でも公民館に訪れる方も徐々に増え、少しずつ公民館活動も活発にあるよう努力したい。</p>	<p>【職員対応】 コロナ対応で活動ができない期間が続く</p> <p>【運営方針】 しっかりと継続してほしい</p> <p>【広報活動】 広報活動は工夫しながらしっかりとやっている</p>
小野	<p>生涯学習の充実と地域及び各種団体との連携を図り、地域住民相互のふれあいを深めながら健康で明るい生活の実現と豊かなまちづくりを目指します。</p>	<p>コロナウイルスの感染防止対策のため公民館が閉館となり、6月に開館したものの利用者の大半を高齢者が占めるため、感染防止対策を講じて利用を促すが感染を恐れて公民館への利用をためらう方が多かった。感染予防対策を徹底して皆さんのが安心して利用できる環境を作ることが必要だと思った。</p>	<p>広報発行回数は予定通りに行い、ホームページの更新も公民館事業や地域のイベント等を紹介している</p>	<p>コロナウイルスの感染に繋がりそうな事業は見直しながら進めた。事業内容はコロナに関するものなど、住民が今必要としているものなどを取り入れたり、また、心を和ませるものなど緩急をつけながら取り組む。引きこもり状態の高齢者もいることから、感染予防の徹底を周知しながら興味を持ちそうな事業を提供し、少しでも公民館に足が向くような取組を図っていきたい。</p>	<p>令和2年度はコロナ禍のなかでどう事業を進めていくかが課題となり、事業開催にあたり感染予防対策を取りながらでの開催を周知する。しかし、利用者の大半を占める高齢者の中には、令和元年度までは多くの事業に参加していたが感染を恐れ今年は全く参加しない方が多数みられた。主催事業については状況に応じて内容を見直しながら進め、利用者の方から好評を得る。また、公民館利用の中でネックとなっていた交通手段に対して、今までは公民館が送迎をして利用者の増加を図っていたが、コロナ禍の中ではそれが困難となり、利用者減少の一因とも考えられる。今後は開催場所を変更するなどコロナ禍の中で利用者の利便性を考慮した取組や安心して利用できる環境づくりなど、コロナ禍の中により多くの方に利用していただけるような取組を図っていきたい。</p>	<p>【職員対応】 常に明るく元気な接客に努めている。</p> <p>【運営方針】 年間事業計画に基づき、様々な学習計画の提供と住民同士のふれあいを深め、地域づくりに心がけている。</p> <p>【広報活動】 「広報小野」は、全ての住民の知るところであり、都度の発行を楽しみにしている住民も多い。</p>
大鶴	<p>日田市大鶴公民館は、地域に密着し住民に開かれ、多くの住民が利用しやすい公民館を目指して、各種事業の充実を推進する。もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に努める。</p> <p>公民館は地域住民にとって最も身近な学習施設であるだけではなく、地域課題解決の場とともに地域の絆を強め、人づくり・地域づくりの拠点としての役割を果たしていく。</p>	<p>主催事業については、地区を2班に分けることで密を回避するなどの工夫を行ったが、事業数は減少した。公民館コピーの活用するため、掲示物のテーマ別の展示、または地域の方の作品を展示するなどの工夫もした。全体的にコロナ禍の影響により利用数は減少している。</p>	<p>今年は3月3日から臨時休館となつたが、公民館だよりは毎月発行した。4月15日号では手作りマスクの作り方を掲載し、地域の方から手作りマスクの提供、材料の提供を募った。5月には高齢者の一人暮らし世帯(約70世帯)に梶原集落支援員と手作りマスク2枚を配布することができた。公民館は休館中であったが、公民館だよりをとおして大鶴地区の方の優しさと繋がりを感じることが出来た。</p>	<p>コロナ禍の中、事業の実施にあたり、3密を避ける工夫(同じ日に2部構成。地区を2班に分けて別日に開催)をして開催したが、回数は減少した。コロナにより、宿泊やバスを用いた事業に規制がかかり、中止となる講座が多かつた。そういった中、全て中止するのではなく、市内の施設や資源を活用し工夫しながら講座の提供ができた。</p>	<p>感染症対策で事業内容の変更や中止が相次ぎ、事業実施の難しい年であった。しかし、広報を利用し公民館に集まらずとも地域住民に参画してもらえる企画や、感染症対策の規制を実施しながらも、市内の施設や資源を利用した活動など、コロナ禍の中で知恵を絞り、工夫しながら開催した事業は、コロナ禍前には気づかない視点でもあり、次年度やコロナ終焉後も活用できる事業であった。多くの人が集まる事が現時点では難しいが次年度以降も運営委員会や地域団体、夜明公民館など他の公民館などと連携しながら、地域の学びの拠点としての役割を果たしていくことが必要。</p>	<p>【職員対応】 利用者等への対応が適切に行えており、今後も継続していただきたい。</p> <p>【運営方針】 コロナ禍において運営も難しい点があったと思われるが、地域づくりの拠点となる役割を果たせている。</p> <p>【広報活動】 充実した紙面であり、多くの住民が毎号楽しみにしている。今後も努力を継続していただきたい。</p>

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
夜明	日田市教育行政基本方針に基づき、子どもから高齢者までの多様な学習要求に対応した魅力ある学習機会の提供と、地区住民の学習意欲を促進します。また、夜明は小規模ですが、ふるさとを愛する心と元気に満ちた地区です。 そういった夜明の活力を活かし、家庭・学校・地域が一体となって、今以上に誇れる「ふるさと夜明」を住民自らの手で作り上げられる様な取り組みを、地域の社会教育関係団体等と連携・協力し推進します。	約3カ月に及ぶ利用制限の影響で、事業と教室の実施回数、並びに利用者数は大きく減少することになった。	夜明の出来事を積極的に載せ、より多くの人に見やすく、読みやすい紙面を心がける。	今年度はコロナウィルスの影響があり、予定どおりの内容、スケジュールで開催することが出来なかった。広報については、予定していた回数を上回り、住民により多くの情報を提供することが出来た。	夜明地区は中山間地域で高齢化率も高く、また公共交通アクセスも不便であり利用者が限定的になりつつある。広く利用できる施策を中長期的に検討する必要がある。 今後も参加者のニーズを把握し、地域住民が積極的に参加したい事業展開に心掛ける。	<p><b>【職員対応】</b> グラウンド整備や花植、草刈等 地域住民と連携し、美化に努力している。また困り事等にも丁寧に対応している。</p> <p><b>【運営方針】</b> コロナ禍で、当初は公民館休館、および事業の縮小または中止に追い込まれる状況の1年でした。 そのような状況下、試行錯誤をしながら従来と異なる方法や新たな教室を開催できたことは、次に繋がる成果と考えるが、まだまだ検討の余地はある。今後も世代間を超えて、「ふるさと夜明」を愛し、安心・安全に健やかに生活できる地域を目指した事業の企画を要望する。</p> <p><b>【広報活動】</b> ・回数、時期ともにタイムリーに発行され、情報の共有化の一助になっている。 ・公式ホームページの更新をタイムリーに実施することが必要。 ・もっと興味を抱くような紙面づくりを他を参考に工夫することを期待する。</p>
五和	五和地区住民の生活に即した教育や学術・文化に関する事業を開催、または促進し、社会福祉の増進に寄与する。 青少年の健全育成、成人高齢者の生涯学習、人権啓発・家庭教育の充実を図り、五和地区全体の地域活性化に向け、各種事業を推進していきたい。	新型コロナウィルス感染防止対策により、会議等での貸館利用が大きく減少した。そのほか自主教室も休止があり、持ち直すまでに時間がかかった。	公民館活動状況を公民館だよりにて毎月1回発刊。過年度同様、東部地域包括支援センターにも記事の掲載を依頼し、情報発信だけでなく健康増進に関する記事を掲載することができた。	通年講座が多く、新規の受講者よりも継続の方が多い傾向にあるが、コロナ禍であっても、単発の講座を何度も開催できた。	年度当初活動自粛を余儀なくしたが、その後は主催事業、共催事業、自主学習教室ともに利用者も内容も例年並みとなり、地域の方も変わらず充実した活動が出来たと思われる。青少年事業では新たに寺子屋教室を始め、学習支援の一助となった。課題としては引き続き新規利用者の増加に努めると同時に、主催事業内で連携を図り、交流の幅を広げたい。	<p><b>【職員対応】</b> 利用者に接する態度もよく、問題はない。利用者は皆きもちよく施設を使っている。</p> <p><b>【運営方針】</b> 五和地区全体の地域活性化に向けた各種事業に積極的に取り組み、考え動いている。</p> <p><b>【広報活動】</b> ・広報誌として「公民館だより」はみやすく、読みやすく、記事の内容も工夫している。 ・ホームページはもっと活用できる。毎日閲覧者がいることを意識。</p>

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
前津江	前津江地区住民に対し、日常生活に即した教育・学術・文化に関する各種事業を提供するとともに、ともに集い、ともに学び、ともに生きる喜びを共有し、地域の課題を考え解決する学習の拠点とする。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月まで公民館の利用は禁止となり、予定事業や公民館まつり等の中止が重なり年間利用者数は減少した。	広報・チラシとともに必要分発行できた。新型コロナウイルス感染が広がるなか、積極的な呼びかけ(HPの更新など広報全般)が出来なかつた	新規事業を2つ立ち上げることが出来たが、コロナ禍で全体の事業数も参加者も減少することとなってしまった。	コロナ禍で出来る範囲の活動となったが今までの反省点から、前津江は集落が点在しているので集落ごとの講座開催を目指し袖木集落では認知症予防教室の回数を増やし開催することが出来た。また、まえつえセミナーで今までの活動の一区切りとなる『憩いの杜やませみ』の開店やマップづくりなど活動が結果として残せた。	<p><b>【職員対応】</b> 利用者の方からは好評を受けているようだが更なる努力が必要</p> <p><b>【運営方針】</b> 常に住民が利用しやすい公民館運営を目指してもらいたい</p> <p><b>【広報活動】</b> ホームページと公民館だよりで必要最低限の広報活動が出来ていたが、更なる充実をお願いしたい</p>
中津江	中津江の下記のような諸課題に対し、社会教育の側面から事業に取り組みます。1. 住民ひとりひとりの日々の暮らしの「質」をより良くしていくことは大きな地域課題です。健やかでイキイキとした生活を支える事業に取り組みます。2. 中津江村の資料・記録は散逸の危機に直面しており、今が最後の機会となっています。住民の力をお願いしながら貴重な資料・記録の収集整理にあたる事業に取り組みます。3. 令和2年度からリニューアルされるコミュニティ・スクールの活動をサポートしていきます。4. 中津江ホールの利用向上を検討していきます。	年度始めからのコロナウイルス対策による休館・事業自粛が5月末まで続いた後、再開するも1ヶ月後に豪雨災害が発生、地域も甚大な被害を受けた。避難所として全館使用されたり国道が10月まで通行止めであったりと、ほぼ1年を通して公民館も影響を受けた。非常時の公民館施設としては有効に活用されたと考えている。(9月の台風でも避難所使用があった)	休館・避難所期間では事業報告や参加者募集等もできず、道路も寸断された為に発行自体を見合わせた月もあった。(4・5・8・1月号)	前述の通りの外部要因により、主催事業としては非常に実施が困難な1年だった。しかし、非常時の施設利用としては避難所・物資置き場・被災団体の事務支援・塵芥置き場等で公民館施設が活用されたといえる。	今年度は特殊な1年であり通常時としての評価は難しい。しかし日頃から公民館各部屋(調理室やトイレ)の美化・整理には注意しており、急ではあったが豪雨災害による被災者を衛生的な環境下で受け入れ、宿泊してもらえたと考えている。また、復旧期間中は自衛隊や警察消防の他、多くの団体・個人・物資が出入りし、施設の清掃には苦心した。さらに主要道路の寸断は長期に渡り、実質的に11月からの事業再開となったが、その中で回数としてはある程度実施できたと考える。	<p><b>【職員対応】</b> 地域との繋がりは公民館職員がもっとも重要なものとして対応している。</p> <p><b>【運営方針】</b> 新型コロナ下、豪雨災害のため、地域の公民館として何ができるかが問われた一年であり、通常とは違う活動(避難所サポート、住民の生活支援、ボランティア支援など)を行った。</p> <p><b>【広報活動】</b> 月1回の広報配布を、他組織発行の広報紙と共存共栄の目指し連携しながら発行している。</p>
上津江	令和2年度上津江公民館の運営にゆきましては、①地域の特色を生かした自主学習事業の推進・拡充」②「健康寿命の延伸を目的とした社会体育の推進」③「児童から小学校低・高学年までのキャリア教育の充実」の3点を関係諸団体との協力のもと誰もが気軽に学び・集える場の環境を整備・構築して参りたいと考えております。	新型コロナウイルス感染症の影響で事業スタートが遅れ、主催・共催事業、自主学習教室とともに回数・利用者数は半減した。その中で、利用者の熱意もあり、開催方法を工夫して5割程度の開催が出来た。図書の貸し出しは増加した。	公民館だよりは昨年度より増えて14回発行できた。号外の発行は8回。新型コロナウイルスの影響のある中、地域の方や連携機関からの情報や記事の投稿があり、内容が充実していた。記事の投稿をして下さる方が増え、紙面での交流も出来ている。ホームページの更新回数は155回あるので、閲覧者を増やしたい。	年度の前半は公民館活動が出来ない状況にあった。自主学習教室が徐々に開催されるようになつたのが7月、第1回目の主催事が8月になつた。バスを使つた研修や市外での活動が出来ず、視野を広げる機会が制限された。とりわけ、公民館フェスティバルについては、委員さんとの話し合いを重ねた結果、2年連続して中止とした。モチベーションを失わないために希望する教室は動画等を撮影し記録を残すように計画した。	各事業とも、運営委員会と連携し、地域住民や参加者の意見を聴きながら実施することができた。多くの方々に公民館へ立ち寄つていただき意見を聞かせていただくことが出来た。地域の方に親まれる公民館をこれからも目指したい。事業内容や開催方法、公民館の利用の仕方など守らなければならないことが多かつたが、利用者のみなさんの理解と協力で1年間の事業を終えることが出来た。 今の状態が今後も続くことが予想されるが、直前中止になることを悟りして計画だけは早めに立てておく必要がある。	<p><b>【職員対応】</b> 利用者に対し、館長・主事ともに気軽に気持ちよく接している。</p> <p><b>【運営方針】</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で制限がある中、地域の活性化と住民の学習機会の確保に努力している</p> <p><b>【広報活動】</b> 様々な話題が取り上げられており、さらなる内容の充実が望まれる。</p>

公民館	運営方針	反省			総合評価	運営委員会評価
		利用状況	広報活動	主催講座		
大山	大山公民館では大山町に暮らす住民が健康的に、精神的に豊かで穏やかな生活を送ることが出来るように地域に根差し、地域の様々な活動の拠点となれるよう公民館の運営にあたり実施する。地域の社会教育施設として地域住民にとって「学びの場」「活動の場」「交流の場」となり、お互いに学び合い、ともに尊重し、手を取り合い励まし合い連携し、人づくり・地域づくりの一助となるような公民館事業を推進する。	コロナ禍での公民館事業であったので実施回数、参加人数等減少した。主催事業についてはコロナ感染防止対策を講じながら工夫して事業実施できた。	ホームページブログ更新の頻度をあげよう努めた。	主催事業はコロナ感染予防対策をとりながら計画的に実施できた。料理教室等は公民館改修にともない調理室がないため実施できなかった。次年度はコロナ感染症の状況をみながら慎重に実施したい。	自主学習教室、主催事業とも、コロナ禍で工夫しながら実施できた。広報、ホームページ更新など積極的に取り組んだ。予算執行も補正予算をおこないながら計画的に執行できた。	【職員対応】 事務室に立ち寄る利用者も増え公民館の好感度が上がったと思う。  【運営方針】 地域での公民館の役割を理解して事業が展開できた。  【広報活動】 コロナ禍で公民館活動周知のため発行回数を増し広報活動を充実させた。
天瀬	日田市公民館運営事業団の地区公民館像「地域に密着し、地区民の利用しやすい公民館」に基づき、集い・学び・夢が実感できる、時代に合った公民館づくりに取り組む。引き続き、「元気で魅力あふれる」公民館づくりを基本方針に掲げ、知己の人が共に支えあい「誰もがちょっと寄ってみたくなる・魅力あふれる」地域に根差し、多くの住民の方に利用いただける公民館づくりに邁進する。	5月末まで休館期間があり、さらに7月豪雨災害も重なって主催事業も10月からのスタートとなったので、大幅に利用者が減っている。	ホームページについては定期的に更新することができたが、地域の話題・情報について掲載がなかつたので、今後は地域の話題も掲載出来るように取り組む。広報についても定期的に発行することができた。カラー印刷なので、写真を多く掲載して見やすい紙面づくりを心掛ける。	実質的に10月からのスタートとなり、参加者も各講座ともかなり減っている。コロナ禍での講座実施となり、かなり難しいところもあったが、参加した方には喜ばれる内容だった。	地域住民のニーズを把握し、既存事業の更なるステップアップを図り、新規事業を立ち上げて新たな利用者の参加を促す。また、地域団体との連携を図りながら、地域の活性化に向けて各種事業を推進する必要がある。	【職員対応】 来館者には丁寧な対応をしている。利用者が気持ちよく利用出来るよう、より一層の丁寧な接遇を求める。  【運営方針】 運営方針に対して、地域団体等と連携しながら取り組んでいる。  【広報活動】 紙面づくりに工夫が見られる。さらに来館者が増えるよう、より一層積極的な情報発信を求める。